



(財)財務会計基準機構会員

平成20年3月期 中間決算短信

平成19年11月9日

上場会社名 株式会社マーベラスエンターテイメント 上場取引所 東証第二部
 コード番号 7844 URL <http://www.mmv.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)中山 晴 喜
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)青木 利 則 TEL:(03)5793-9170
 半期報告書提出予定日 平成19年12月20日

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月中間期の連結業績(平成19年4月1日~平成19年9月30日)

(1)連結経営成績 (%表示は対前年中間期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	中間(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
19年9月中間期	5,016 (1.2)	364 ()	368 ()	518 ()
18年9月中間期	4,956 (26.0)	577 ()	557 ()	591 ()
19年3月期	12,487	1,052	1,053	1,525

	1株当たり中間(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年9月中間期	6,132 58	
18年9月中間期	7,014 15	
19年3月期	18,072 13	

(参考) 持分法投資損益 19年9月中間期 - 百万円 18年9月中間期 - 百万円 19年3月期 - 百万円

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年9月中間期	6,292	2,468	37.7	28,087 95
18年9月中間期	9,383	2,809	29.7	32,944 23
19年3月期	9,466	1,915	19.6	21,975 39

(参考) 自己資本 19年9月中間期 2,372百万円 18年9月中間期 2,783百万円 19年3月期 1,856百万円

(3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年9月中間期	627	2,639	2,086	905
18年9月中間期	768	1,177	2,149	984
19年3月期	657	1,886	2,739	981

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
19年3月期			0 00
20年3月期(実績)			625 00
20年3月期(予想)		625 00	

3. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日~平成20年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	12,500 (0.1)	220 ()	150 ()	780 ()	9,232 95

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法の変更(中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 : 無
 以外の変更 : 無

- (3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数

平成19年9月中間期 84,480株 平成18年9月中間期 84,480株 平成19年3月期 84,480株

期末自己株式数

平成19年9月中間期 株 平成18年9月中間期 株 平成19年3月期 株

(注) 1株当たり中間(当期)純利益(連結)の算定の基礎となる株式数については、26ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

(参考)個別業績の概要

1. 平成20年3月中間期の個別業績(平成19年4月1日~平成19年9月30日)

(1)個別経営成績

(%表示は対前年中間増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	中間(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
19年9月中間期	2,911 (9.9)	182 ()	164 ()	1,616 ()
18年9月中間期	3,230 (27.5)	429 ()	351 ()	395 ()
19年3月期	6,763	1,239	1,228	1,643

	1株当たり中間(当期)純利益
	円 銭
19年9月中間期	19,139 13
18年9月中間期	4,685 17
19年3月期	19,469 25

(2)個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年9月中間期	5,753	2,425	42.2	28,715 20
18年9月中間期	7,543	2,057	27.3	24,354 89
19年3月期	6,724	808	12.0	9,576 07

(参考) 自己資本 19年9月中間期 2,425百万円 18年9月中間期 2,057百万円 19年3月期 808百万円

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

当中間期の経営成績

当社グループを取り巻く環境におきましては、国内音楽ソフト市場は依然として縮小傾向にあるものの、有料音楽配信市場が引き続き堅調な伸びを示しております。映像ソフト市場におきましては、レンタル用DVDの売上が上半期としては過去最高を記録したものの、販売用DVD売上の減少により、前年同期を下回りました。国内ゲーム市場におきましては、前年同様に「ニンテンドーDS(Lite)」「任天堂」が高水準で市場を牽引したことに加え、「Wii」(任天堂)や「プレイステーション・ポータブル」(ソニー・コンピュータエンタテインメント)が100万台を超える出荷を記録し、市場を大幅に押し上げました。

このような状況下、当社グループでは、当中間期を新たな飛躍へ向けた中期経営計画のスタートと位置づけ、経営効率の改善を進めております。当中間期におきましては、連結子会社の吸収・合併や事業再編、成長分野への積極投資やカンパニー制の導入などにより、経営効率を高めると同時に財務体質の改善に努めてまいりました。

当中間期における売上高におきましては、音楽映像事業及びアミューズメント事業において前年同期比減となりましたが、舞台公演事業が堅調に推移したことに加え、デジタルコンテンツ事業において英国子会社Rising Star Games Limitedを中心とした海外売上が大幅に拡大し、ほぼ前年同期並みの実績となりました。利益面におきましては、音楽映像事業において、前連結会計年度にコンテンツ償却の前倒しを行った効果が現れたことに加え、下期に予定していた海外への番組販売などマスターライセンスの二次利用収入が前倒しで計上されたことや、マスターライセンス作品のDVDリピート受注が好調に推移したこと、また、アミューズメント事業の損益が改善されたことなどにより、利益率が改善いたしました。また、事業再編の一環といたしまして、アミューズメント事業譲渡を完了したことにより特別利益を計上いたしました。

この結果、当中間期の営業成績は連結売上高5,016百万円(前年同期比1.2%増)、連結営業損失364百万円(前年同期連結営業損失577百万円)、連結経常損失368百万円(前年同期連結経常損失557百万円)、連結当期純利益518百万円(前年同期連結当期純損失591百万円)となりました。

また、単体におきましては、売上高2,911百万円(前年同期比9.9%減)、営業損失182百万円(前年同期営業損失429百万円)、経常損失164百万円(前年同期経常損失351百万円)、当期純利益1,616百万円(前年同期当期純損失395百万円)となりました。

事業の種類別セグメントの概況は以下の通りです。

(イ) 音楽映像事業

音楽映像事業におきましては、アニメーションを中心とした優良コンテンツの音楽・映像商品(パッケージソフト)化とコンテンツの企画立案から二次利用までを行うマスターライセンス(映像著作権)保有作品の製作を行っております。

音 楽

平成19年上半年(平成19年1月～平成19年6月)における国内音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)の総売上高は、前年同期比6%減の1,823億円と減少、生産数も前年同期比7%減の1億5,486万枚(巻)と減少傾向が続いております。しかしながら同期における有料音楽配信は前年同期比42%増の351億円と、昨年に引き続き堅調な伸びを示しております。(社団法人 日本レコード協会調べ)

このような状況下、当事業におきましては、「Yes!プリキュア5」の主題歌や、企画楽曲等を中心に商品を編成いたしました。

映 像

平成19年上半年(平成19年1月～平成19年6月)の映像ソフト市場は前年同期比4.1%減の1,483億円と前年同期を割りこみました。レンタル用DVDの売上金額が上半期の売上としては過去最高となった一方で、販売用DVDは平成16年をピークに前年同期割れが続いております。(社団法人 日本映像ソフト協会調べ)

このような状況下、当事業におきましては、テレビ放映アニメ作品「この青空に約束を ~ようこそつくみ寮へ~」,「セイント・ビースト 光陰叙事詩天使譚」,「School Days」,「ケンコー全裸系水泳部 ウミショー」や、実写ドラマ作品「ハッピー ボーイズ」,実写映画「Academy」への出資および映像商品化を行うとともに、前期より引き続き、「家庭教師ヒットマンREBORN!」,「ゴーストハント」,「僕らがいた」等を映像商品化したしました。加えて、ミュージカル「テニスの王子様」のコンサートDVDやサポーターズDVD、OVA*「MURDER PRINCESS」等の映像作品を編成いたしました。また、ミュージカル「テニスの王子様」をはじめとする各種DVDのリピーター受注が増加したことや、海外への番組販売などマスターライツの二次利用収入が下期より前倒して計上できたことにより、利益率が改善いたしました。

この結果、当中間期における音楽映像事業の営業成績は、連結売上高1,912百万円(前年同期比15.7%減)、連結営業利益183百万円(前年同期連結営業損失287百万円)となりました。

*OVA : Original Video Animationの略

テレビアニメーションとは異なるオリジナルビデオ商品のこと

(ロ) デジタルコンテンツ事業

デジタルコンテンツ事業におきましては、据え置き型及び携帯型ゲーム機を中心としたデジタルエンターテイメントコンテンツの企画・開発・発売を行っております。

平成19年度上半期(平成19年4月~平成19年9月)における国内ゲーム市場規模は、ハード市場が1,432億円(前年同期比38.3%増)、ソフトが1,598億円(前年同期比16.7%増)、ハード・ソフト合計では3,031億円(前年同期比48.1%増)を記録し、過去最高を記録した前年同時期を上回るペースで推移しています。ハード市場は、「ニンテンドーDS(Lite)」が354万台(前年同期比17.1%減)を販売し依然高水準で推移している他、「Wii」が162万台(累計357万台)を販売、また「プレイステーション・ポータブル」が新モデル「PSP-2000」の販売を機に、初の月間販売台数トップとなり上半期では119万台(前年同期比44.1%増)を販売し、市場を大幅に押し上げる原動力となりました。ソフト市場は、前年度上半期には3タイトルあったミリオンタイトルがなかったものの、10万本以上のヒット作に恵まれ、前年度の55タイトルから80タイトルと大幅に増加した結果、市場の拡大につながりました。(株式会社エンターブレイン調べ)

このような状況下、当事業におきましては、国内においては、当社初のプラットフォームとなるWii向けタイトルとして、定番タイトルである「牧場物語」シリーズの最新作「牧場物語 やすらぎの樹」を含む3タイトルを発売、ニンテンドーDS向けタイトルといたしましては、「川のぬし釣り こもれびの谷せせらぎの詩」等2タイトルを発売、プレイステーション2(ソニー・コンピュータエンタテインメント)向けソフトとしては、当社初の集英社著作権作品となる「武装錬金~ようこそ パピヨンパークへ」やグループ全社プロジェクトとして推進する「家庭教師ヒットマンREBORN! ドリームハイパーバトル! 死ぬ気の炎と黒き記憶」をはじめ9タイトルを発売いたしました。また、英国子会社Rising Star Games Limitedにおいて平成19年4月7日に発売した「Harvest Moon DS」が欧州累計50万本の受注を突破したことや、北米市場への積極的なタイトル投入により海外売上が順調に拡大いたしました。

この結果、当中間期におけるデジタルコンテンツ事業の営業成績は、連結売上高2,431百万円(前年同期比67.1%増)、連結営業損失299百万円(前年同期営業損失85百万円)となりました。

(ハ) アミューズメント事業

アミューズメント事業におきましては、平成19年6月1日をもちまして、新設立会社へ5店舗を会社分割し、同新設立会社の全株式を株式会社アトラスに譲渡いたしました。また、その他の3店舗につきましては、平成19年8月3日をもちまして、株式会社ザ・サードプラネットへの事業譲渡を完了いたしました。

この結果、当中間期におけるアミューズメント事業の営業成績は、連結売上高468百万円(前年同期比55.2%減)、連結営業利益5百万円(前年同期営業損失27百万円)となりました。

(二) 舞台公演事業

舞台公演事業におきましては、漫画やアニメ、ゲームの人気作品を原作にした興行ビジネスを展開しております。

当事業におきましては、横浜・大阪で開催した「ミュージカル『テニスの王子様』コンサート Dream Live 4th」を開催し、同シリーズのコンサートといたしましては過去最高の観客動員を記録いたしました。また、前期に引き続き公演した「ミュージカル『エア・ギア』vs. バッカス Super Range Remix」につきましても観客動員が順調に推移いたしました。

この結果、当中間期における舞台公演事業の営業成績は、連結売上高203百万円（前年同期比9.0%増）、連結営業利益38百万円（前年同期比28.8%減）となりました。

通期の見通し

音楽映像事業におきましては、今後も音楽ソフト・映像ソフト市場の低迷が予測される中で、良質な作品への絞込みを行いつつ積極的にマスターライツの拡充を図るとともに、引き続き音楽・映像配信への作品供給など二次利用収入の拡大に努めてまいります。デジタルコンテンツ事業におきましては、更なるビジネスチャンスが期待できる海外市場を視野に入れ、ワールドワイドで通用するオリジナルソフトの企画・開発に注力し欧州・北米への作品投入を進めるとともに、マルチプラットフォーム展開による開発費の低減にも取り組んでまいります。舞台公演事業におきましては、当社グループの新たな事業の柱とすべく、主力作品の更なる拡大展開を図るとともに、当事業の先駆者利得を活かしながら、新たな作品の創出に取り組んでまいります。

なお、通期の連結業績予想につきましては、平成19年8月10日に公表しました売上高12,500百万円、営業利益220百万円、経常利益150百万円、当期純利益780百万円のみまで変更はありません。

(2) 財政状態に関する分析

資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3,173百万円減少しました。その内訳は流動資産が1,238百万円、固定資産が1,935百万円の減少となりました。主な内訳は、流動資産ではたな卸資産が414百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が1,513百万円減少し、固定資産ではアミューズメント事業の売却等により、有形固定資産が1,375百万円、敷金保証金が213百万円及び投資その他の資産のその他に含まれる建設協力金が316百万円の減少となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,725百万円減少しました。主な内訳は、短期借入金が2,076百万円、買掛金が421百万円及び未払金が908百万円の減少となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ552百万円の増加となりました。

キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ76百万円減少し、905百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は627百万円(前中間連結会計期間は使用した資金768百万円)となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前中間純利益が586百万円、売上債権の減少額1,513百万円であり、支出の主な内訳は、関係会社株式売却益が857百万円、未払金の減少額が805百万円、たな卸資産の増加額が776百万円、仕入債務の減少額が421百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は2,639百万円(前中間連結会計期間は使用した資金1,177百万円)となりました。

これは、主にアミューズメント事業の一部を分社化し、当該連結子会社株式の売却収入1,693百万円と、残りのアミューズメント事業の譲渡による収入1,020百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2,086百万円(前中間連結会計期間は得られた資金2,149百万円)となりました。

これは、投資活動の結果得られた資金を、主に短期借入金の返済に充てたことによるものであります。

当社のキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	平成17年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期	平成19年9月期
自己資本比率(%)	46.5	50.3	19.6	37.7
時価ベースの自己資本比率(%)	167.6	105.1	40.2	47.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)				
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	269.4			

自己資本比率：自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債 / キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー / 利払い

各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数により算出しております。

キャッシュ・フローは、中間連結(連結)キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、中間連結(連結)貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、中間連結(連結)キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

平成17年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率は、有利子負債がないため記載しておりません。また、平成18年3月期、平成19年3月期及び平成19年9月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しており、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。

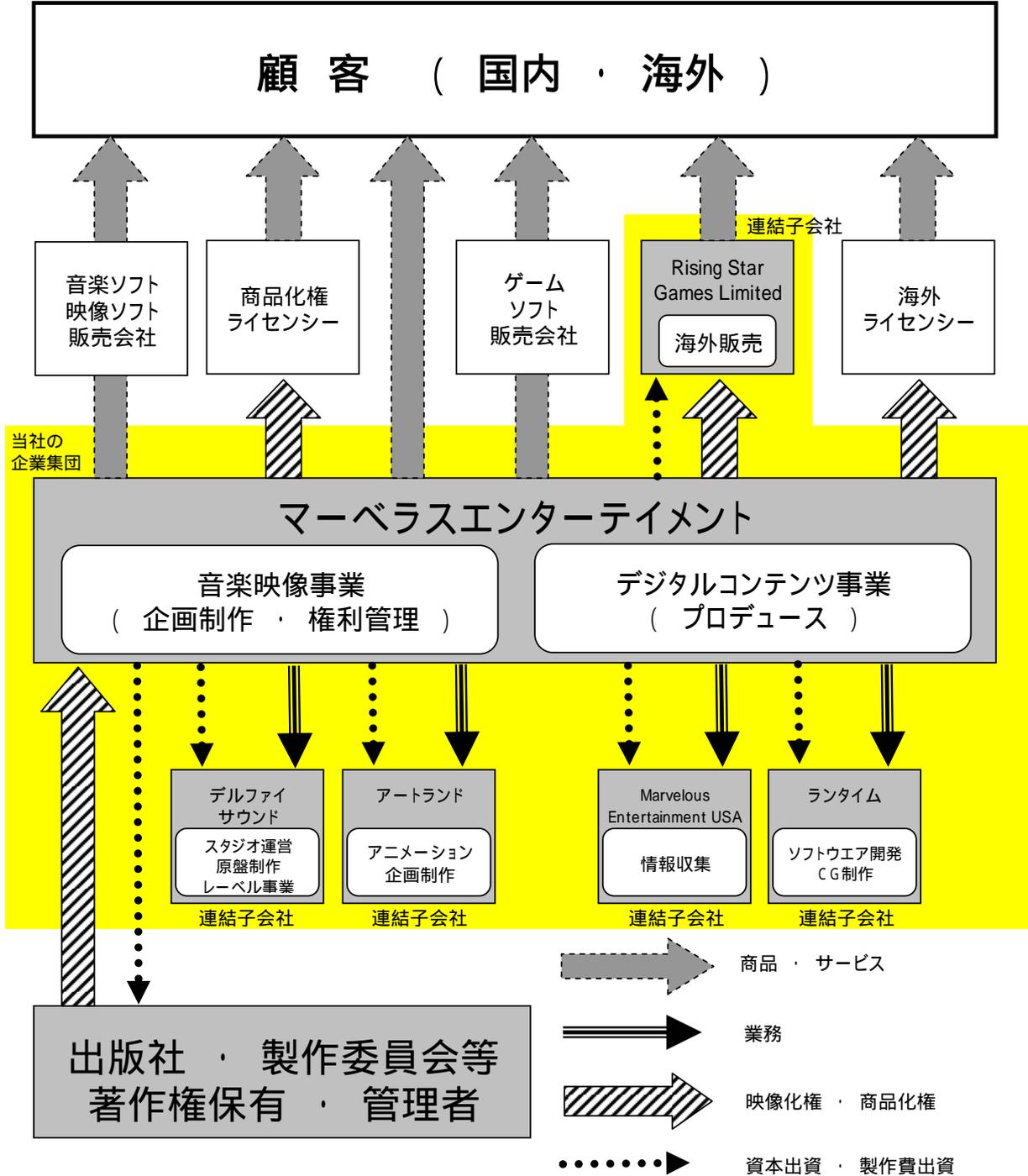
当期の配当につきましては、期末に1株当たり625円の復配を予定しております。

なお、内部留保資金の用途につきましては、今後の事業展開に向けた戦略財源として有効投資してまいります。

2. 企業集団の状況

当社の企業集団は、当社及び子会社5社で構成されております。当社及び各子会社の当該事業に係る位置付けは、下図のとおりであります。

(事業の系統図)



3. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、「音とゲームと映像を融合させた新しいエンターテイメントの創造」により全世界の人々に楽しみを与えることを経営理念に掲げております。日本が世界に誇れる文化であるアニメーションにフォーカスし、当社の強みである作品発掘能力やプロデュース能力を駆使して、優良なコンテンツの創造を実現し、心の豊かな社会の発展に貢献することを経営の基本方針としております。

(2) 目標とする経営指標

平成19年3月期中間決算短信(平成18年11月10日開示)により開示を行った内容から重要な変更がないため開示を省略しております。当該決算短信は次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ホームページ)

<http://www.mmv.co.jp>

(東京証券取引所ホームページ(上場会社情報検索ページ))

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

(3) 中長期的な会社の経営戦略

一つのキャラクターを音楽映像事業、デジタルコンテンツ事業、舞台公演事業においてマルチコース展開し、事業間シナジーを創出することを経営戦略に掲げております。

また、持続的な成長を見せる欧州ソフト市場に向けて英国子会社のRising Star Games Limitedによる販売活動を推進するなど、海外売上高の更なる拡大を目論んでおります。

(4) 会社の対処すべき課題

音楽映像事業においては、販売チャネルの多様化が進む中で、映像コンテンツのマスターライツ保有を進め、原版(盤)収益の確立に取り組んでまいります。また、子会社の株式会社デルファイサウンド、株式会社アートランドと連携することによって、制作機能を強化し、品質と収益両面の向上を図ります。

デジタルコンテンツ事業におきましては、今までのゲームソフトの概念にとらわれない幅広いユーザー向けの商品を数多く企画し、リスクを分散しながら安定的な収益を目指します。また、定番タイトルである「牧場物語」だけではなく、複数のオンラインゲームを運営することによって新たなビジネス機会を創出してまいります。

舞台公演事業におきましては、ミュージカル「テニスの王子様」の顧客数が飛躍的に増大しており、公演の安全で円滑な運営が課題となってきております。更に、ミュージカル公演の先駆者としての地位を確固たるものにするために、新たな演目の公演を企画し、「テニスの王子様」に続くヒットシリーズを生み出してまいります。

4. 中間連結財務諸表

(1) 中間連結貸借対照表

区分	注記 番号	前中間連結会計期間末 (平成18年9月30日)		当中間連結会計期間末 (平成19年9月30日)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成19年3月31日)		
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	
(資産の部)								
流動資産								
1	現金及び預金	984,209		905,713		981,735		
2	受取手形及び売掛金	1,925,624		1,041,764		2,555,511		
3	たな卸資産	2,315,762		2,473,828		2,059,323		
4	前渡金	777,635		788,766		678,128		
5	その他	498,545		287,546		464,591		
	貸倒引当金	12,351		13,232		16,820		
	流動資産合計	6,489,427	69.2	5,484,386	87.2	6,722,471	71.0	
固定資産								
1	有形固定資産	-		219,863		-		
	(1) 建物	360,606		-		444,326		
	(2) アミューズメント 施設機器	1,170,069		-		1,021,315		
	(3) その他	122,364	1,653,040	-	219,863	129,912	1,595,555	
2	無形固定資産							
	(1) のれん	317,926		247,276		282,601		
	(2) その他	117,772	435,698	116,662	363,938	112,251	394,852	
3	投資その他の資産							
	(1) 敷金保証金	361,545		161,394		374,446		
	(2) その他	444,410		63,631		379,521		
	貸倒引当金	501	805,454	250	224,774	250	753,717	
	固定資産合計	2,894,193	30.8	808,576	12.8	2,744,125	29.0	
	資産合計	9,383,621	100.0	6,292,963	100.0	9,466,596	100.0	

区分	注記 番号	前中間連結会計期間末 (平成18年9月30日)		当中間連結会計期間末 (平成19年9月30日)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成19年3月31日)		
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	
(負債の部)								
流動負債								
1	買掛金	1,023,862		603,062		1,025,006		
2	短期借入金	2,600,000		1,123,792		3,200,408		
3	一年以内返済予定の 長期借入金	20,231		18,153		18,700		
4	未払金	1,312,730		540,157		1,448,827		
5	未払印税	675,818		695,067		850,001		
6	未払法人税等	25,704		64,261		81,702		
7	前受金	355,740		221,516		302,365		
8	賞与引当金	82,633		70,150		48,391		
9	その他	36,452		72,617		142,153		
	流動負債合計	6,133,173	65.4	3,408,778	54.2	7,117,558	75.2	
固定負債								
1	長期借入金	433,264		415,463		424,265		
2	預り保証金	8,088		519		8,842		
	固定負債合計	441,353	4.7	415,982	6.6	433,107	4.6	
	負債合計	6,574,526	70.1	3,824,761	60.8	7,550,665	79.8	
(純資産の部)								
株主資本								
1	資本金	878,539		878,539		878,539		
2	資本剰余金	880,059		880,059		880,059		
3	利益剰余金	1,017,667		601,747		83,667		
	株主資本合計	2,776,266	29.6	2,360,346	37.5	1,842,266	19.5	
評価・換算差額等								
1	為替換算調整勘定	6,862		12,524		14,214		
	評価・換算差額等合計	6,862	0.0	12,524	0.2	14,214	0.1	
	少数株主持分	25,966	0.3	95,331	1.5	59,449	0.6	
	純資産合計	2,809,094	29.9	2,468,202	39.2	1,915,930	20.2	
	負債純資産合計	9,383,621	100.0	6,292,963	100.0	9,466,596	100.0	

(2) 中間連結損益計算書

区分	注記 番号	前中間連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)				
		金額(千円)		百分比 (%)	金額(千円)		百分比 (%)	金額(千円)		百分比 (%)
売上高			4,956,153	100.0		5,016,259	100.0		12,487,743	100.0
売上原価			4,105,470	82.8		4,044,922	80.6		10,506,890	84.1
売上総利益			850,682	17.2		971,337	19.4		1,980,852	15.9
販売費及び一般管理費										
1 広告宣伝費		671,497			512,175			1,451,679		
2 貸倒引当金繰入額		211			95			12,751		
3 従業員給与・賞与		177,742			203,696			438,682		
4 賞与引当金繰入額		51,332			46,762			35,699		
5 その他		527,459	1,428,242	28.8	573,413	1,336,142	26.6	1,094,442	3,033,255	24.3
営業損失()			577,560	11.6		364,805	7.2		1,052,402	8.4
営業外収益										
1 受取利息		173			289			529		
2 受取配当金		220			402			222		
3 負ののれん償却額		20,059			-			20,059		
4 為替差益		7,054			7,293			13,332		
5 保険解約返戻金		3,847			-			-		
6 消耗品売却額		-			6,259			-		
7 その他		6,296	37,651	0.8	6,709	20,955	0.4	11,188	45,331	0.4
営業外費用										
1 支払利息		9,758			24,528			39,838		
2 株式分割費用		2,227			-			-		
3 保険積立取崩額		5,202			-			-		
4 その他		348	17,536	0.4	286	24,814	0.5	7,080	46,918	0.4
経常損失()			557,444	11.2		368,664	7.3		1,053,989	8.4
特別利益										
1 貸倒引当金戻入額		5,880			3,683			14,202		
2 固定資産売却益		53,952			3,529			84,747		
3 事業譲渡益		-			112,382			-		
4 関係会社株式売却益		-	59,832	1.2	857,481	977,077	19.5	-	98,950	0.8

区分	注記 番号	前中間連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)			当中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)			前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)		
		金額(千円)		百分比 (%)	金額(千円)		百分比 (%)	金額(千円)		百分比 (%)
特別損失										
1 固定資産売却損		6,957			16,517			23,060		
2 固定資産除却損		22,790			5,284			23,250		
3 減損損失		-			-			102,633		
4 フランチャイズ契約 解約違約金		-			-			153,743		
5 契約金、保証金解約損		3,916	33,664	0.7	-	21,801	0.5	66,858	369,547	3.0
税金等調整前中間純利益又 は税金等調整前中間(当期) 純損失()			531,276	10.7		586,610	11.7		1,324,586	10.6
法人税、住民税及び事業税		5,879			32,648			111,871		
法人税等調整額		60,688	66,568	1.3	-	32,648	0.7	61,903	173,774	1.4
少数株主利益又は損失()			5,906	0.1		35,882	0.7		27,577	0.2
中間純利益又は中間(当期) 純損失()			591,937	11.9		518,080	10.3		1,525,938	12.2

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
平成18年3月31日残高(千円)	872,442	873,961	1,662,305	3,408,708
中間連結会計期間中の変動額				
新株の発行	6,097	6,097		12,195
剰余金の配当			52,700	52,700
中間純損失			591,937	591,937
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)				
中間連結会計期間中の変動額合計(千円)	6,097	6,097	644,637	632,442
平成18年9月30日残高(千円)	878,539	880,059	1,017,667	2,776,266

	評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成18年3月31日残高(千円)	2,282	2,282	31,872	3,442,864
中間連結会計期間中の変動額				
新株の発行				12,195
剰余金の配当				52,700
中間純損失				591,937
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	4,579	4,579	5,906	1,326
中間連結会計期間中の変動額合計(千円)	4,579	4,579	5,906	633,769
平成18年9月30日残高(千円)	6,862	6,862	25,966	2,809,094

当中間連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
平成19年3月31日残高(千円)	878,539	880,059	83,667	1,842,266
中間連結会計期間中の変動額				
新株の発行				
剰余金の配当				
中間純利益			518,080	518,080
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)				
中間連結会計期間中の変動額合計(千円)	-	-	518,080	518,080
平成19年9月30日残高(千円)	878,539	880,059	601,747	2,360,346

	評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成19年3月31日残高(千円)	14,214	14,214	59,449	1,915,930
中間連結会計期間中の変動額				
新株の発行				
剰余金の配当				
中間純利益				518,080
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	1,690	1,690	35,882	34,191
中間連結会計期間中の変動額合計(千円)	1,690	1,690	35,882	552,271
平成19年9月30日残高(千円)	12,524	12,524	95,331	2,468,202

前連結会計年度の連結株主資本等変動計算書(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
平成18年3月31日残高(千円)	872,442	873,961	1,662,305	3,408,708
連結会計年度中の変動額				
新株の発行	6,097	6,097		12,195
剰余金の配当			52,700	52,700
当期純損失			1,525,938	1,525,938
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)				
連結会計年度中の変動額合計(千円)	6,097	6,097	1,578,638	1,566,442
平成19年3月31日残高(千円)	878,539	880,059	83,667	1,842,266

	評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成18年3月31日残高(千円)	2,282	2,282	31,872	3,442,864
連結会計年度中の変動額				
新株の発行				12,195
剰余金の配当				52,700
当期純損失				1,525,938
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	11,931	11,931	27,577	39,508
連結会計年度中の変動額合計(千円)	11,931	11,931	27,577	1,526,933
平成19年3月31日残高(千円)	14,214	14,214	59,449	1,915,930

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

		前中間連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	当中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	前連結会計年度の 要約連結キャッシュ・ フロー計算書 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)	
区分	注記 番号	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	
営業活動によるキャッシュ・フロー					
1		税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間(当期)純損失()	531,276	586,610	1,324,586
2		減価償却費	360,823	175,958	908,549
3		減損損失	-	-	102,633
4		映像コンテンツ償却	659,741	341,726	1,285,016
5		のれん償却額	7,313	35,325	42,638
6		長期前払費用の償却額	3,283	-	9,283
7		賞与引当金の増加(減少)額	34,043	21,758	198
8		貸倒引当金の減少額	5,669	3,587	1,451
9		受取利息	173	289	529
10		支払利息	9,758	24,528	39,838
11		為替差損(差益)	549	-	504
12		映像コンテンツの評価損	356,600	20,722	1,057,171
13		デジタルコンテンツの評価損	-	-	53,308
14		固定資産売却益	53,952	3,529	84,747
15		固定資産売却損	6,957	16,517	23,060
16		固定資産除却損	22,790	5,284	23,250
17		事業譲渡益	-	112,382	-
18		関係会社株式売却益	-	857,481	-
19		売上債権の減少(増加)額	51,905	1,513,747	681,792
20		たな卸資産の増加額	2,557,184	776,955	3,679,899
21		仕入債務の増加(減少)額	337,590	421,944	338,734
22		未払金の増加(減少)額	464,760	805,839	693,900
23		未払印税の増加(減少)額	81,032	154,934	255,216
24		未払消費税等の増加(減少)額	-	2,332	4,544
25		その他流動資産の減少額	383,254	14,265	595,074
26		その他流動負債の減少額	262,712	177,416	196,751
27		その他	4,025	18,544	53,595
		小計	731,448	537,038	492,723
28		利息の受取額	173	289	529
29		利息の支払額	13,641	27,528	44,127
30		法人税等の支払額	23,168	63,103	121,303
営業活動によるキャッシュ・フロー					
			768,085	627,381	657,625
投資活動によるキャッシュ・フロー					
1		連結の範囲の変更を伴う子会社株式 の取得による支出	146,042	-	146,042
2		連結子会社の売却による収入	-	1,693,599	-
3		事業譲渡による収入	-	1,020,438	-
4		有形固定資産の取得による支出	803,592	200,864	1,508,004
5		有形固定資産の売却による収入	123,884	90,516	130,803
6		無形固定資産の取得による支出	7,983	19,242	15,909
7		長期前払費用の増加による支出	18,000	-	22,000
8		匿名組合精算金受入による収入	11,907	-	11,907
9		敷金保証金の増加による支出	38,726	1,942	70,648
10		敷金保証金の減少による収入	34,304	51,272	53,326
11		貸付けによる支出	346,740	1,898	352,227
12		貸付金の回収による収入	6,822	10,261	24,930
13		預り保証金の返還に伴う支出	1,458	3,791	4,603
14		預り保証金の受入に伴う収入	5,600	1,200	9,500
15		その他	2,952	260	2,952
投資活動によるキャッシュ・フロー					
			1,177,070	2,639,289	1,886,014

		前中間連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	当中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	前連結会計年度の 要約連結キャッシュ・ フロー計算書 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
区分	注記 番号	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
財務活動によるキャッシュ・フロー				
1		3,000,000	625,792	5,900,845
2		1,200,000	2,702,408	3,500,436
3		400,000	-	400,000
4		10,238	9,348	20,769
5		12,086	-	12,082
6		52,097	276	52,258
財務活動によるキャッシュ・フロー		2,149,749	2,086,240	2,739,462
現金及び現金同等物に係る換算差額		5,129	1,690	11,426
現金及び現金同等物の増加(減少)額		209,723	76,022	207,249
現金及び現金同等物の期首残高		774,486	981,735	774,486
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高		984,209	905,713	981,735

(5) 中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

最近の半期報告書(平成18年12月20日提出)における記載から重要な変更がないため開示を省略しております。

(6) 中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

表示方法の変更

前中間連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)				
<p>(中間連結損益計算書)</p> <p>前中間連結会計期間において、営業外費用に区分掲記しておりました「新株発行費」は、営業外費用の100分の10以下となったため、当中間連結会計期間において「その他」に含めて表示しております。</p> <p>前中間連結会計期間において、営業外収益に掲記しておりました「連結調整勘定償却額」は、当中間連結会計期間から「負ののれん償却額」として表示しております。</p> <p>(中間連結キャッシュ・フロー計算書)</p> <p>前中間連結会計期間において、営業活動によるキャッシュ・フローに掲記しておりました「連結調整勘定償却額」は、当中間連結会計期間から「のれん償却額」及び「負ののれん償却額」を相殺のうえ、「のれん償却額」として表示しております。</p> <p>前中間連結会計期間において、営業活動によるキャッシュ・フローに区分掲記しておりました「新株発行費」は、金額的重要性が乏しくなったため、当中間連結会計期間において「その他」に含めて表示しております。</p>	<p>(中間連結貸借対照表)</p> <p>前中間連結会計期間において、有形固定資産に区分掲記しておりました「建物」は重要性が低く、また「アミューズメント施設機器」は資産総額の100分の5以下となったため、当中間連結会計期間においては「有形固定資産」として表示しております。</p> <p>なお、当中間連結会計期間の有形固定資産に含まれる当該金額は、次の通りであります。</p> <table data-bbox="826 801 1268 862"> <tr> <td>建物</td> <td>77,176千円</td> </tr> <tr> <td>アミューズメント施設機器</td> <td>- 千円</td> </tr> </table>	建物	77,176千円	アミューズメント施設機器	- 千円
建物	77,176千円				
アミューズメント施設機器	- 千円				

追加情報

前中間連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
<p>(ゲームソフトの会計処理) 外部委託のゲームソフトの制作費については、従来ソフトウェアと認識し、研究開発費等に係る会計基準に従い、研究開発費として処理しておりましたが、家庭用ゲーム機の高性能化、多機能化に伴い、ゲームソフト製品化決定プロセスや外部委託内容を見直したところ、映像、音楽、音声等のコンテンツとして分類されるものの重要性が大きくなってきており、今後もこの傾向が強まるため、当中間連結会計期間より制作に着手したゲームソフトからコンテンツと認識し、コンテンツとしての会計処理(制作に係る支出額をたな卸資産に計上し、発売時に売上原価に振替える処理)を適用しております。</p>		<p>(ゲームソフトの会計処理) 外部委託のゲームソフトの制作費については、従来ソフトウェアと認識し、研究開発費等に係る会計基準に従い、研究開発費として処理しておりましたが、家庭用ゲーム機の高性能化、多機能化に伴い、ゲームソフト製品化決定プロセスや外部委託内容を見直したところ、映像、音楽、音声等のコンテンツとして分類されるものの重要性が大きくなってきており、今後もこの傾向が強まるため、当連結会計年度より制作に着手したゲームソフトからコンテンツと認識し、コンテンツとしての会計処理(制作に係る支出額をたな卸資産に計上し、発売時に売上原価に振替える処理)を適用しております。</p> <p>(アミューズメント事業部門の一部事業譲渡) 当社は平成19年3月20日開催の取締役会において、平成19年7月1日を目途にアミューズメント部門の一部を事業譲渡することを決議しました。</p> <p>1 当該事業の譲渡の目的 当社は総合エンターテイメント企業を目指して、音楽映像事業、デジタルコンテンツ事業、アミューズメント事業を3本柱として事業展開して参りましたが、当社グループとして今後の更なる成長を実現するために、音楽映像事業並びにデジタルコンテンツ事業へ経営資源を集中させる必要があると判断し、アミューズメント事業部門の3店舗を株式会社ザ・サードプラネットへ譲渡することに致しました。これにより、財務体質を強化するとともに、市場における優位性の確保を図り、企業価値の向上を目的としております。</p> <p>2 当該事業の譲渡先</p> <p>(1)名称 株式会社ザ・サードプラネット</p> <p>(2)住所 横浜市都筑区中川中央1-25-1</p> <p>(3)代表者の氏名 代表取締役社長 長野 和史</p> <p>(4)資本金 273百万円</p> <p>(5)事業の内容 アミューズメント施設運営</p>

前中間連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
		<p>3 当該事業譲渡の内容</p> <p>(1)事業譲渡する事業内容 アミューズメント施設運営</p> <p>(2)譲渡する事業の規模 売上高129百万円 (平成18年3月期) 譲渡対象の3店舗中2店舗は、平成18年4月以降に営業を開始しております。</p> <p>(3)譲渡価額 未定</p> <p>(4)譲渡の日程 事業譲渡承認取締役会 平成19年3月20日 (なお、本件事業譲渡は会社法第467条の規定に基づき株主総会の承認を得ないで行います。) 基本合意書締結 平成19年3月20日 事業譲渡契約締結 未定 事業譲渡日 未定</p> <p>(連結子会社との合併) 当社は平成19年3月20日開催の取締役会において、平成19年6月30日を効力発生日として当社の特定子会社である株式会社マーベラスインタラクティブを吸収合併することを決議し、平成19年3月20日に合併契約書を締結いたしました。</p> <p>1 当該吸収合併の目的 当社と特定子会社である株式会社マーベラスインタラクティブが経営統合することで、内部統制の観点からの効率的業務の運営および音楽・映像とゲームの更なる融合、各部門のシナジー効果の向上を図るため、合併するものであります。</p> <p>2 合併に関する事項</p> <p>(1)当該吸収合併の相手会社の商号、本店の住所地、代表者の氏名、資本金、純資産の額、総資産の額、売上高、当期純利益および事業の内容</p> <p>商号 株式会社マーベラス インタラクティブ 本店の所在地 東京都渋谷区恵比寿4-20-3 代表者の氏名 和田 康宏 資本金 100百万円 純資産の額 1,086百万円 (平成19年3月31日現在) 総資産の額 3,071百万円 (平成19年3月31日現在) 売上高 3,997百万円 (平成19年3月期) 当期純利益 130百万円 (平成19年3月期)</p>

前中間連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
	<p>(償却可能限度額の会計処理)</p> <p>平成19年3月31日以前に取得した減価償却資産については、償却可能限度額まで償却が終了した翌年から5年間で備忘価格が1円になるまで均等償却する方法によっております。</p> <p>なお、当該変更に伴う損益に与える影響は、軽微であります。</p>	<p>事業の内容</p> <p>家庭用ゲームソフトの企画・開発・制作・発売</p> <p>(2)当該吸収合併の方法</p> <p>当社を存続会社とする吸収合併方式(会社法第784条第1項に定める簡易合併)とし、株式会社マーベラスインタラクティブは解散いたします。</p> <p>また、当社は株式会社マーベラスインタラクティブの全株式を所有しており、合併による新株式の発行および合併交付金の支払は行いません。</p>

(7) 中間連結財務諸表に関する注記事項

a 中間連結貸借対照表、中間連結損益計算書、中間連結株主資本等変動計算書、中間連結キャッシュ・フローに関する注記事項については、中間決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略しております。

b セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前中間連結会計期間(自平成18年4月1日至平成18年9月30日)

	音楽映像事業(千円)	デジタルコンテンツ事業(千円)	アミューズメント事業(千円)	その他の事業(千円)	計(千円)	消去又は全社(千円)	連結(千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	2,266,948	1,455,456	1,047,402	186,345	4,956,153		4,956,153
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	700				700	(700)	
計	2,267,648	1,455,456	1,047,402	186,345	4,956,853	(700)	4,956,153
営業費用	2,554,944	1,541,119	1,074,574	132,533	5,303,172	230,540	5,533,713
営業利益又は営業損失()	287,295	85,663	27,172	53,811	346,319	(231,240)	577,560

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品又は事業の内容

(1) 音楽映像事業VHSビデオ、DVD、音楽CD、音楽原盤制作等

(2) デジタルコンテンツ事業ゲームソフト、PCソフト

(3) アミューズメント事業アミューズメント施設運営

(4) その他の事業.....舞台公演

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(233,393千円)の主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

当中間連結会計期間(自平成19年4月1日至平成19年9月30日)

	音楽映像事業(千円)	デジタルコンテンツ事業(千円)	アミューズメント事業(千円)	舞台公演事業(千円)	計(千円)	消去又は全社(千円)	連結(千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,912,119	2,431,983	468,974	203,181	5,016,259		5,016,259
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	100				100	(100)	
計	1,912,219	2,431,983	468,974	203,181	5,016,359	(100)	5,016,259
営業費用	1,728,872	2,731,772	463,850	164,847	5,089,343	291,721	5,381,064
営業利益又は営業損失()	183,347	299,789	5,124	38,334	72,983	(291,821)	364,805

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品又は事業の内容

(1) 音楽映像事業VHSビデオ、DVD、音楽CD、音楽原盤制作等

(2) デジタルコンテンツ事業ゲームソフト、PCソフト

(3) アミューズメント事業アミューズメント施設運営

(4) 舞台公演事業.....舞台公演

なお、「舞台公演事業」は前連結会計年度まで「その他の事業」としておりましたが、重要性が増したため当期より区分表示しております。

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(318,666千円)の主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

前連結会計年度(自平成18年4月1日至平成19年3月31日)

	音楽映像 事業(千円)	デジタルコンテンツ 事業(千円)	アミューズメント 事業(千円)	その他の 事業(千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	4,591,314	5,081,967	2,315,800	498,661	12,487,743		12,487,743
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	32,156				32,156	(32,156)	
計	4,623,471	5,081,967	2,315,800	498,661	12,519,900	(32,156)	12,487,743
営業費用	5,517,092	4,842,900	2,396,662	383,656	13,140,312	399,833	13,540,146
営業利益又は営業損失()	893,621	239,067	80,862	115,004	620,412	(431,990)	1,052,402

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品又は事業の内容

- (1) 音楽映像事業 VHSビデオ、DVD、音楽CD、音楽原盤制作等
- (2) デジタルコンテンツ事業 ゲームソフト、PCソフト
- (3) アミューズメント事業 アミューズメント施設運営
- (4) その他の事業 舞台公演

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(399,833千円)の主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

[所在地別セグメント情報]

前中間連結会計期間(自平成18年4月1日至平成18年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合が90%を超えているため、記載を省略しております。

当中間連結会計期間(自平成19年4月1日至平成19年9月30日)

	日本 (千円)	イギリス (千円)	アメリカ (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,347,857	668,401		5,016,259		5,016,259
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	128,432			128,432	(128,432)	
計	4,476,289	668,401		5,144,691	(128,432)	5,016,259
営業費用	4,619,767	569,091	1,971	5,190,830	190,234	5,381,064
営業利益又は営業損失()	143,477	99,310	1,971	46,138	(318,666)	364,805

(注) 1 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(318,666千円)の主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

前連結会計年度(自平成18年4月1日至平成19年3月31日)

	日本 (千円)	イギリス (千円)	アメリカ (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	11,146,283	1,341,460		12,487,743		12,487,743
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	321,134			321,134	(321,134)	
計	11,467,418	1,341,460		12,808,878	(321,134)	12,487,743
営業費用	12,148,578	1,250,921	5,274	13,404,774	135,371	13,540,146
営業利益又は営業損失()	681,159	90,538	5,274	595,896	(456,506)	1,052,402

(注) 1 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(135,371千円)の主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

[海外売上高]

前中間連結会計期間(自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当中間連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

	欧州	北米	アジア	その他	計
海外売上高(千円)	684,265	153,698	6,491	22,339	866,794
連結売上高(千円)					5,016,259
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.6	3.1	0.1	0.4	17.3

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州.....イギリス、フランス、スペイン

(2) 北米.....アメリカ

(3) アジア.....韓国、台湾

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

前連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	欧州	アジア	北米	計
海外売上高(千円)	1,341,460	301,174	241,712	1,884,347
連結売上高(千円)				12,487,743
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.7	2.4	1.9	15.1

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州.....イギリス、ドイツ

(2) アジア.....韓国、台湾

(3) 北米.....アメリカ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

- c リース取引、有価証券、デリバティブ取引、ストック・オプション等に関する注記事項については、中間決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略しております。

d 1株当たり情報

前中間連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	当中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)								
1株当たり純資産額 32,944円23銭 1株当たり中間純損失 7,014円15銭 なお、潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。 当社は平成18年4月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報については、それぞれ以下のとおりであります。	1株当たり純資産額 28,087円95銭 1株当たり中間純利益 6,132円58銭 なお、潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり純資産額 21,975円39銭 1株当たり当期純損失 18,072円13銭 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。 当社は平成18年4月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の前連結会計年度の1株当たり情報については、それぞれ以下のとおりであります。								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>前中間連結会計期間</th> <th>前連結会計年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1株当たり純資産額 27,547円97銭</td> <td>1株当たり純資産額 40,452円94銭</td> </tr> <tr> <td>1株当たり中間純利益 2,236円22銭</td> <td>1株当たり当期純利益 6,588円15銭</td> </tr> <tr> <td>潜在株式調整後1株当たり中間純利益 2,141円87銭</td> <td>潜在株式調整後1株当たり当期純利益 6,303円14銭</td> </tr> </tbody> </table>	前中間連結会計期間	前連結会計年度	1株当たり純資産額 27,547円97銭	1株当たり純資産額 40,452円94銭	1株当たり中間純利益 2,236円22銭	1株当たり当期純利益 6,588円15銭	潜在株式調整後1株当たり中間純利益 2,141円87銭	潜在株式調整後1株当たり当期純利益 6,303円14銭		1株当たり純資産額 40,452円94銭 1株当たり当期純利益 6,588円15銭 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 6,303円14銭
前中間連結会計期間	前連結会計年度									
1株当たり純資産額 27,547円97銭	1株当たり純資産額 40,452円94銭									
1株当たり中間純利益 2,236円22銭	1株当たり当期純利益 6,588円15銭									
潜在株式調整後1株当たり中間純利益 2,141円87銭	潜在株式調整後1株当たり当期純利益 6,303円14銭									

(注) 算定上の基礎

1. 1株当たり純資産額

項目	前中間連結会計期間末 (平成18年9月30日)	当中間連結会計期間末 (平成19年9月30日)	前連結会計年度末 (平成19年3月31日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	2,809,094	2,468,202	1,915,930
普通株式に係る純資産額(千円)	2,783,128	2,372,870	1,856,480
差額の主な内訳(千円)			
少数株主持分	25,966	95,331	59,449
普通株式の発行済株式数(株)	84,480	84,480	84,480
1株当たり純資産の算定に用いられた普通株式の数(株)	84,480	84,480	84,480

2. 1株当たり中間(当期)純利益及び潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益

項目	前中間連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	当中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
連結損益計算書上の中間純利益又は中間(当期)純損失() (千円)	591,937	518,080	1,525,938
普通株式に係る中間純利益又は中間(当期)純損失() (千円)	591,937	518,080	1,525,938
普通株式の期中平均株式数(株)	84,392	84,480	84,436
潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益の算定に用いられた普通株式増加数の主要な内訳(株)			
新株予約権			
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	第2回～第4回新株予約権 (新株予約権の数1,231個)	第2回～第4回新株予約権 (新株予約権の数1,187個)	第2回～第4回新株予約権 (新株予約権の数1,219個)

e 重要な後発事象

前中間連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
		<p>(連結子会社との合併) 平成19年4月1日を効力発生日として、当社の連結子会社である株式会社マーベラス音楽出版を吸収合併いたしました。</p> <p>1 当該吸収合併の目的 当社と連結子会社である株式会社マーベラス音楽出版が経営統合することで、スピーディーな顧客サービスの実現及び業務の効率的な運用を図るため、合併するものであります。</p> <p>2 当該吸収合併の相手会社の概要 商号 株式会社マーベラス音楽出版 本店の所在地 東京都渋谷区恵比寿4-20-3 代表者の氏名 代表取締役社長 牧野幸文 資本金 10百万円 純資産の額 98百万円 総資産の額 129百万円 売上高 157百万円 当期純利益 42百万円 事業の内容 音楽著作権管理</p> <p>3 当該吸収合併の方法 当社を存続会社とする吸収合併方式(会社法第796条第3項に定める簡易合併ならびに会社法第784条第1項に定める略式合併)とし、株式会社マーベラス音楽出版は解散いたします。</p> <p>また、当社は株式会社マーベラス音楽出版の全株式を所有しており、合併による新株式の発行及び合併交付金の支払は行いません。</p> <p>(事業の一部社化並びに新設会社の株式譲渡) 当社は、平成19年6月1日付でアミューズメント部門の一部を会社分割(新設分割)により新設会社に継承し、同日、当該新設会社の発行済株式のすべてを譲渡いたしました。</p> <p>1 当該新設分割の目的 当社は総合エンターテイメント企業を目指して、音楽映像事業、デジタルコンテンツ事業、アミューズメント事業を3本柱として事業展開して参りましたが、当社グループとして今後の更なる成長を実現するために、音楽映像事業並びにデジタルコンテンツ事業へ経営資源を集中させる必要があると判断し、アミューズメント事業部門の5店舗を会社分割し、同新設立会社の全株式を株式会社アトラスへ譲渡することに致しました。これにより、財務体質を強化</p>

前中間連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
		<p>するとともに、市場における優位性の確保を図り、企業価値の向上を目的としております。</p> <p>2 当該新設分割の方法、割当ての内容及び計画</p> <p>(1) 分割の日程 当社取締役会（新設分割承認決議） 平成19年3月20日 株式譲渡契約締結 平成19年3月20日 分割期日（効力発生日） 平成19年6月1日 分割登記 平成19年6月1日 なお、本件会社分割は会社法第805条の規定に基づき株式総会の承認を得ないで分割を行う簡易分割であります。</p> <p>(2) 分割方式 当社を分割会社とし、新設の株式会社マッドを承継会社とする新設分割であります。</p> <p>(3) 株式の割当 新設分割に際し、新設会社株式会社マッドは普通株式200株を発行し、当社に200株（100%）を割当てます。</p> <p>(4) 分割交付金 分割交付金の支払いはありません。</p> <p>(5) 分割会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い 該当事項はありません。</p> <p>(6) 新設会社が継承する権利義務 新設会社は、分割期日において当社アミューズメント部門の5店舗に係わる資産、負債、契約関係及びこれらに付随する権利義務を継承いたします。</p> <p>(7) 債務履行の見込み 本分割後の事業活動において、債務の履行に影響を及ぼす事象の発生は、現在のところ予想されていないことから、分割会社ならびに新設会社が負担すべき債務の履行の确实性に問題はないものと判断しております。</p> <p>3 新設分割に係る割当ての内容の算定根拠 単独での分社型新設分割であるため、第三者機関による算定は実施しておりません。また、新設分割設立会社は当社の100%子会社であることから、新設分割設立会社の資本金等の額を考慮して、割当株式数を決定いたしました。</p>

前中間連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
		<p>4 新設分割する事業の規模 売上高 1,135 百万円 (平成18年3月期)</p> <p>5 当該新設分割の後の新設会社 商号 株式会社マッド 本店の所在地 東京都渋谷区恵比寿4-20-3 代表者の氏名 代表取締役社長 猪狩 茂 資本金 10 百万円 純資産の額 872 百万円 総資産の額 876 百万円 事業の内容 アミューズメント事業</p> <p>6 株式譲渡先 商号 株式会社アトラス 本店の所在地 東京都新宿区神楽坂4-8 代表者の氏名 代表取締役社長 猪狩 茂 資本金 8,450 百万円 事業の内容 アミューズメント事業</p> <p>7 株式譲渡価額 1,730 百万円(調整あり)</p> <p>8 株式譲渡の日程 平成19年3月20日 当社取締役会 (株式譲渡承認決議) 平成19年3月20日 株式譲渡契約締結 平成19年6月1日 株式譲渡日</p>

5. 中間個別財務諸表

(1) 中間貸借対照表

区分	注記 番号	前中間会計期間末 (平成18年9月30日)		当中間会計期間末 (平成19年9月30日)		前事業年度の 要約貸借対照表 (平成19年3月31日)			
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)		
(資産の部)									
流動資産									
1	現金及び預金	279,266		500,477		494,488			
2	受取手形	10,500		-		-			
3	売掛金	1,174,779		970,753		1,001,468			
4	たな卸資産	1,149,752		2,341,896		234,944			
5	前渡金	329,211		559,466		405,742			
6	短期貸付金	1,536,741		31,678		1,527,311			
7	その他	249,508		310,204		290,571			
	貸倒引当金	7,258		12,841		12,841			
	流動資産合計	4,722,500	62.6	4,701,634	81.7	3,941,684	58.6		
固定資産									
1	有形固定資産	-		140,194		-			
	(1) 建物	293,053		-		383,795			
	(2) アミューズメント 施設機器	1,170,069		-		1,021,315			
	(3) その他	28,179		-		24,561			
	有形固定資産合計	1,491,301		140,194		1,429,672			
2	無形固定資産	87,953		114,747		82,611			
3	投資その他の資産								
	(1) 関係会社株式	536,645		381,645		491,645			
	(2) 敷金保証金	317,879		116,699		330,940			
	(3) その他	387,338		371,476		533,001			
	貸倒引当金	-		73,250		85,000			
	投資その他の資産合計	1,241,863		796,570		1,270,587			
	固定資産合計	2,821,118	37.4	1,051,512	18.3	2,782,871	41.4		
	資産合計	7,543,618	100.0	5,753,147	100.0	6,724,555	100.0		

区分	注記 番号	前中間会計期間末 (平成18年9月30日)		当中間会計期間末 (平成19年9月30日)		前事業年度の 要約貸借対照表 (平成19年3月31日)		
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	
(負債の部)								
流動負債								
1	買掛金	620,412		437,452		330,243		
2	短期借入金	2,600,000		1,100,000		3,200,000		
3	未払金	939,736		528,723		949,312		
4	未払印税	670,549		687,983		816,436		
5	未払法人税等	7,636		12,196		3,035		
6	前受金	174,751		82,454		137,103		
7	賞与引当金	38,970		49,435		28,724		
8	その他	25,972		28,523		41,870		
	流動負債合計		5,078,029	67.3	2,926,768	50.9	5,506,726	81.9
固定負債								
1	長期借入金	400,000		400,000		400,000		
2	預り保証金	8,088		519		8,842		
	固定負債合計		408,088	5.4	400,519	6.9	408,842	6.1
	負債合計		5,486,117	72.7	3,327,287	57.8	5,915,569	88.0
(純資産の部)								
株主資本								
1	資本金		878,539	11.6	878,539	15.3	878,539	13.0
2	資本剰余金							
(1)	資本準備金	880,059		880,059		880,059		
	資本剰余金合計		880,059	11.7	880,059	15.3	880,059	13.1
3	利益剰余金							
(1)	その他利益剰余金							
	繰越利益剰余金	298,902		667,261		949,612		
	利益剰余金合計		298,902	4.0	667,261	11.6	949,612	14.1
	株主資本合計		2,057,500	27.3	2,425,859	42.2	808,986	12.0
	純資産合計		2,057,500	27.3	2,425,859	42.2	808,986	12.0
	負債純資産合計		7,543,618	100.0	5,753,147	100.0	6,724,555	100.0

(2) 中間損益計算書

区分	注記 番号	前中間会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)		当中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		前事業年度の 要約損益計算書 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)				
		金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)			
売上高			3,230,635	100.0		2,911,079	100.0		6,763,956	100.0
売上原価			3,039,986	94.1		2,254,645	77.5		6,723,394	99.4
売上総利益			190,648	5.9		656,434	22.5		40,561	0.6
販売費及び一般管理費			620,596	19.2		838,781	28.8		1,280,164	18.9
営業損失()			429,948	13.3		182,347	6.3		1,239,602	18.3
営業外収益										
1 受取利息		7,111			9,091			21,608		
2 受取配当金		60,220			400			60,220		
3 賃貸料収入		5,699			-			13,977		
4 受取手数料		9,211			26,526			20,549		
5 消耗品売却		-			6,259			-		
6 その他		5,848	88,090	2.7	3,635	45,912	1.6	14,097	130,453	1.9
営業外費用										
1 支払利息		7,288			20,114			29,533		
2 貸倒引当金繰入額		-			-			85,000		
3 為替差損		-			8,115			-		
4 株式分割費用		2,227			-			-		
5 その他		316	9,831	0.3	216	28,445	1.0	4,394	118,928	1.8
経常損失()			351,688	10.9		164,880	5.7		1,228,077	18.2
特別利益										
1 貸倒引当金戻入額		4,909			16,657			11,748		
2 固定資産売却益		53,952			3,529			84,747		
3 事業譲渡益		-			112,382			-		
3 関係会社株式売却益		-			857,481			-		
4 抱合せ株式消滅差益		-	58,861	1.8	815,979	1,806,030	62.0	-	96,495	1.4
特別損失										
1 固定資産売却損		6,957			16,517			23,060		
2 固定資産除却損		22,790			5,284			23,250		
3 関係会社株式評価損		-			-			44,999		
4 減損損失		-			-			102,633		
5 フランチャイズ契約 解約違約金		-			-			153,743		
6 契約金、保証金解約損		3,916	33,664	1.0	-	21,801	0.7	66,858	414,547	6.1
税引前中間純利益又は税引 前中間(当期)純損失()			326,491	10.1		1,619,349	55.6		1,546,129	22.9
法人税、住民税及び事業税		8,655			2,475			37,531		
法人税等調整額		60,244	68,899	2.1	-	2,475	0.1	60,244	97,775	1.4
中間純利益又は中間(当期) 純損失()			395,391	12.2		1,616,873	55.5		1,643,905	24.3

(3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)

	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
		資本準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金		
平成18年3月31日残高(千円)	872,442	873,961	746,993	2,493,396	2,493,396
中間会計期間中の変動額					
新株の発行	6,097	6,097		12,195	12,195
剰余金の配当			52,700	52,700	52,700
中間純損失			395,391	395,391	395,391
中間会計期間中の変動額合計 (千円)	6,097	6,097	448,091	435,895	435,895
平成18年9月30日残高(千円)	878,539	880,059	298,902	2,057,500	2,057,500

当中間会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
		資本準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金		
平成19年3月31日残高(千円)	878,539	880,059	949,612	808,986	808,986
中間会計期間中の変動額					
新株の発行					
剰余金の配当					
中間純利益			1,616,873	1,616,873	1,616,873
中間会計期間中の変動額合計 (千円)	-	-	1,616,873	1,616,873	1,616,873
平成19年9月30日残高(千円)	878,539	880,059	667,261	2,425,859	2,425,859

前事業年度の株主資本等変動計算書(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
		資本準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金		
平成18年3月31日残高(千円)	872,442	873,961	746,993	2,493,396	2,493,396
事業年度中の変動額					
新株の発行	6,097	6,097		12,195	12,195
剰余金の配当			52,700	52,700	52,700
当期純損失			1,643,905	1,643,905	1,643,905
事業年度中の変動額合計 (千円)	6,097	6,097	1,696,605	1,684,410	1,684,410
平成19年3月31日残高(千円)	878,539	880,059	949,612	808,986	808,986